

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(9/6)

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)、山 國(写真)

日時：2018(平成 30)年 9 月 6 日(木) 9:30～15:30

気象：天候=晴→薄曇 (気温：26℃)

活動エリア：44 林班い・ろ ほか

活動内容：台風 21 号の被害状況の確認と当面可能な復旧作業 など

参加者：石原順子、斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、武田壽夫、豊田哲也、宮本 廣、山 國

(計 10 名)

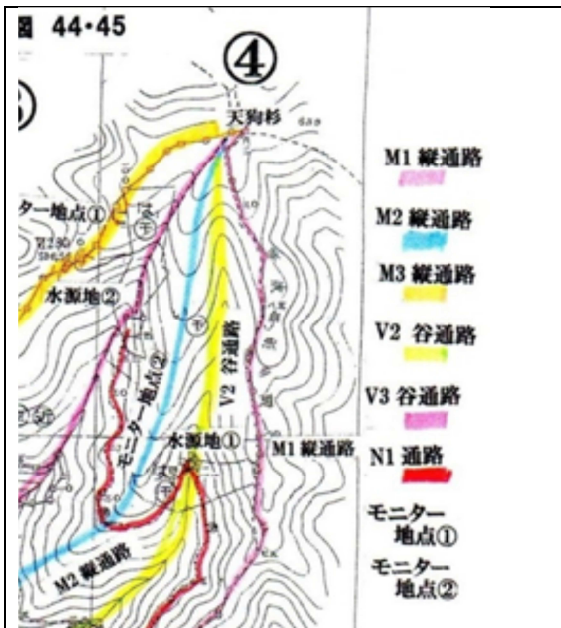
### <半世紀ぶりの暴風雨>

台風 21 号は 9/4 PM2 時頃神戸市に再上陸、北北東に向かい 4 時には日本海へ。関空島で風速 58.1m/sec を記録(13'38")するなど、半世紀ぶりの暴風雨襲来。登山道や活動地一帯の被害状況の確認が急がれるし、出来る整備はしておきたい。集合場所で交々、語り合いながら車に乗りこむ。

### <惨憺たる山の姿>

先ず、自然歩道の登山口には「車侵入禁止」。作業小屋まで約 4km を今日は徒歩。暴風が通り抜けたのだろう東側の谷は倒木累々、登るに従い歩道西側からの倒木も散見され始める。勿論、路上は落枝。とは言え、作業小屋が倒木の”直撃”を免れていたのは幸い。早目の昼食を済ませ、①小屋周辺整備、②自然歩道現況調査、③「44 林班い・ろ」の谷筋と尾根の調査、の三班に別れ出発。山の「惨状」は添付の写真でご実感を。

### <今日の成果？>



小屋周辺の整備、水切りの掘り返し、は一応出来た。歩道に被さる倒木の枝は出来る範囲で切って棚積み、鋸と鋏ではそれが精一杯。塞がった天狗杉から先の自然歩道、累々と重なる谷の倒木、崩壊した里道、これらは我々の手には及ぶまい。折良く国有林巡視に赴いた江間森林官(箕面)、後藤森林技術指導官(森林管理事務所) と出会い、情報交換。9:30～15:30の間、国有林を一巡されたようで多量の倒木処理は管理者側の手に待ちたいもの。

(本文 以上)

<参考地図(左：北)> M1 縦通路(自然歩道)、M2 縦通路の尾根と東西山腹の里道、V2 谷筋路を調査



【調査隊一同】－神峯山寺駐車場前



【新名神トンネル付近】－右奥は付け替えた里道



【自然歩道東側谷の倒木】－一面、薙倒されている



【小屋への道々、邪魔な折れ枝を刈り乍ら】



【作業小屋への道】－新しい倒木が2本見える



【作業小屋付近の荒れ具合】－小屋の直撃は免れた





【東海自然歩道(M1)の落枝と埋った水切り】



【自然歩道に被さる倒木】



【天狗杉手前の自然歩道】



【天狗杉からホソソ山へは通過不能】



【里道に落ちる M1 尾根の山腹からの倒木】



【V2 の谷出口(水源地①)】の倒木群





【水源地①(V2 谷)付近を塞ぐ倒木】



【左の場所を南西側から】



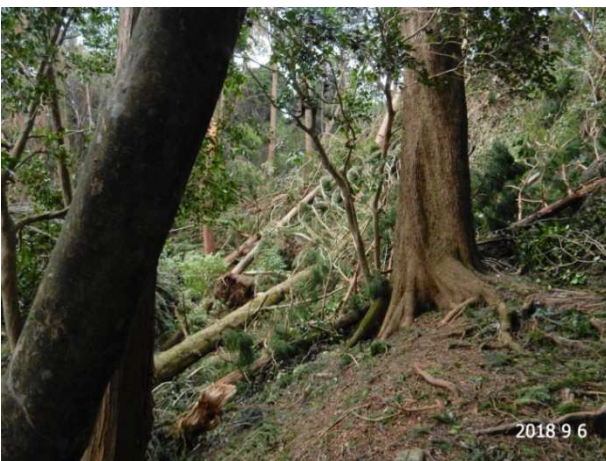
【洗堀が進み根起し寸前のスギ】-簡易木柵の直上



【倒木に埋る V2 谷】 - 自然歩道から俯瞰



【V2 谷最上部付近の倒木】-谷は壊滅状態？



【M2 尾根】 - この先は倒木が重なり前進不能





【M2 西斜面の里道】-山腹からの倒木が重畳



【里道崩壊】-M2 西斜面



【M2 東の谷底】-水源地①と木柵の中間辺り



【本山寺鐘楼】-倒木が屋根に被さる



【綺麗になった小屋周り】



【後片付けの副産物】-倒木利用の椅子二つ新調

